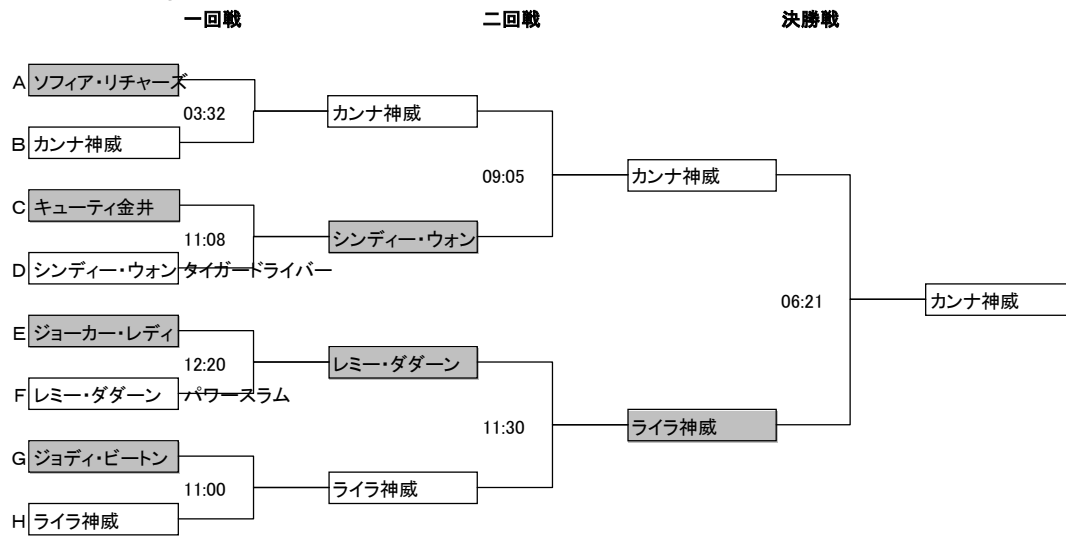


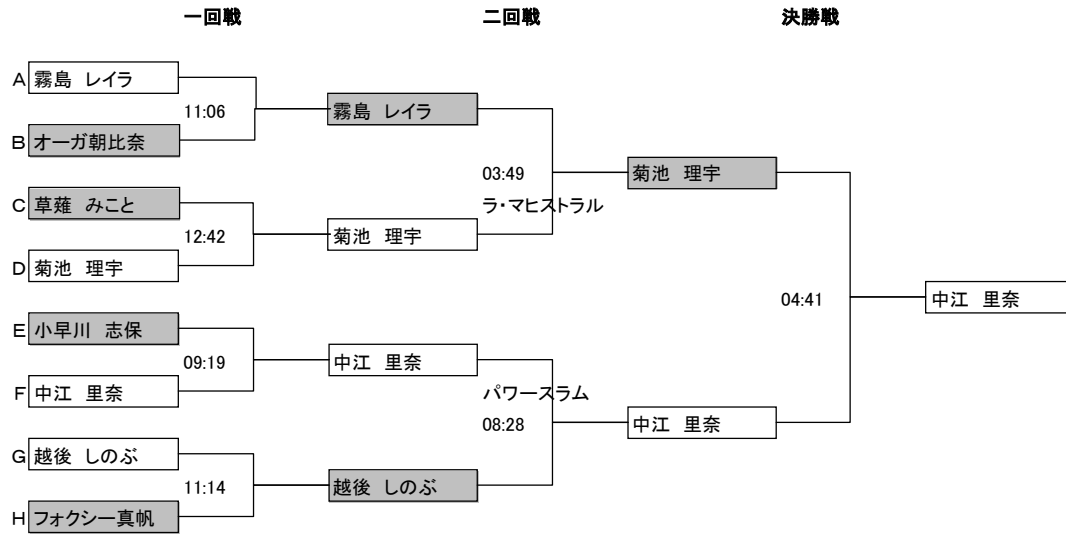
第1回レッスル・ワンナイトトーナメント  
 地方大会・北海道



『観戦記』

日本人選手が3名しかいないため、過半数の5名が外国人招待選手となる北海道大会。  
 招待外国選手のレベル次第で大きく戦局が左右されるかと予想したのですが、  
 開けてみれば、神威旋風が大会を席巻。優勝は神威(悪)を決勝で下した神威(善:というよりむしろ神級)。

地方大会・東北



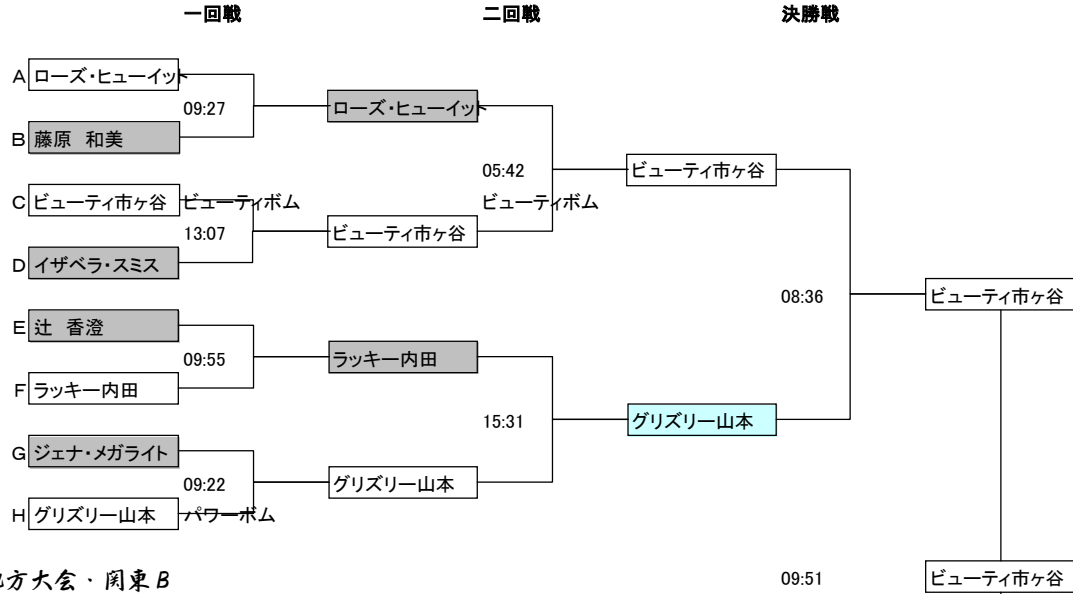
『観戦記』

出身選手がちょうど8名のため、日本人選手のみでトーナメントが構成される東北大会。

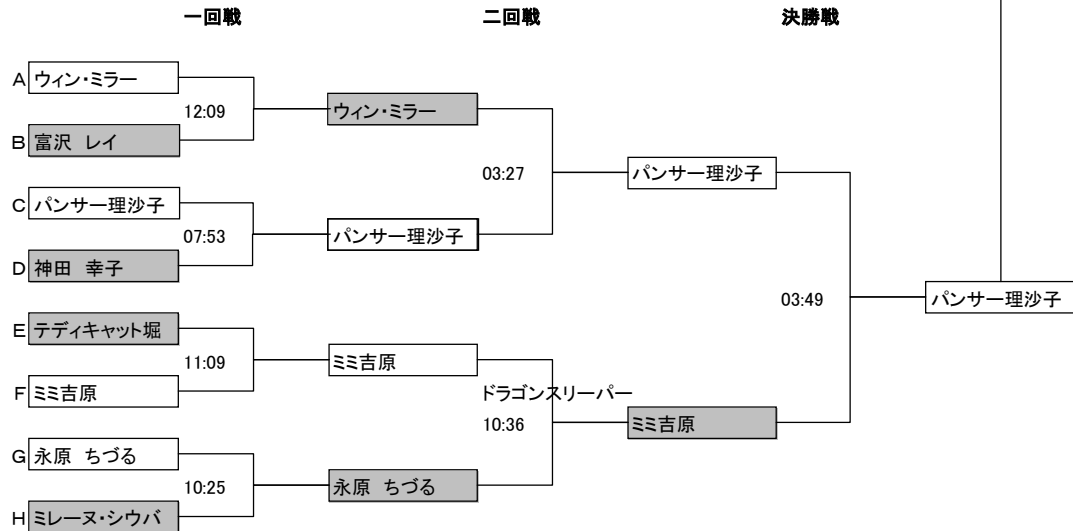
戦力は8名ともドングリの背比べ。レベルは低めなれど非常に面白いトーナメントといえましょう。がんばれ菊池、越後！

記念すべき第一回の優勝者は、意表を衝いて中江。ダメージが蓄積するトーナメント戦はパワーファイター有利か？

地方大会・関東A



地方大会・関東B



『観戦記』

人気、実力ともに大激戦区の関東大会。決勝進出枠は2名です。

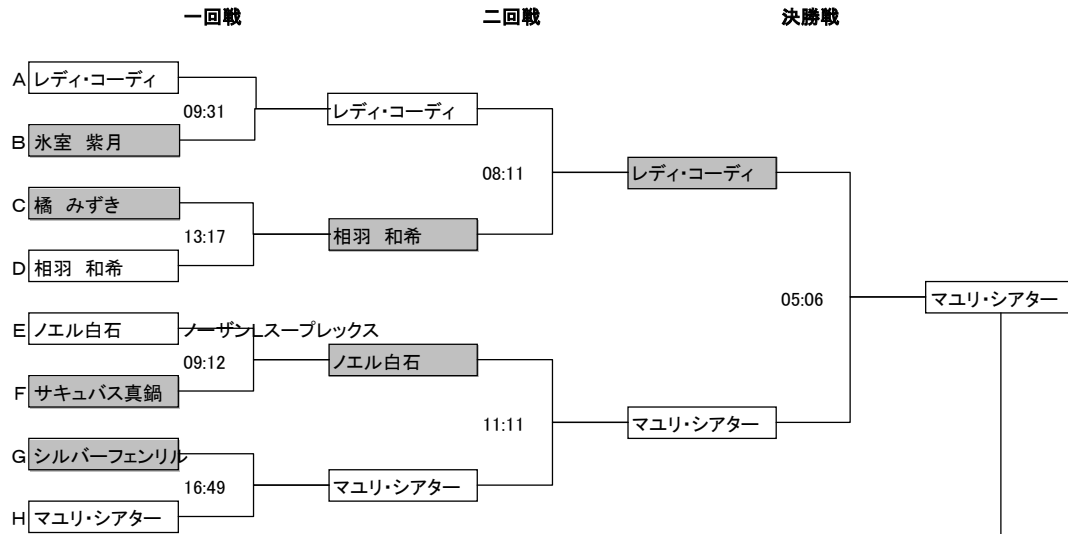
抽選の偶然で、A地区ではいきなりビューティ市ヶ谷とローズ・ヒューイットの日米お嬢様対決が実現！

B地区では堀、吉原、永原のレジェンド中堅が1回戦2回戦で大激突。特に永原と吉原の激闘は感涙ものでした。

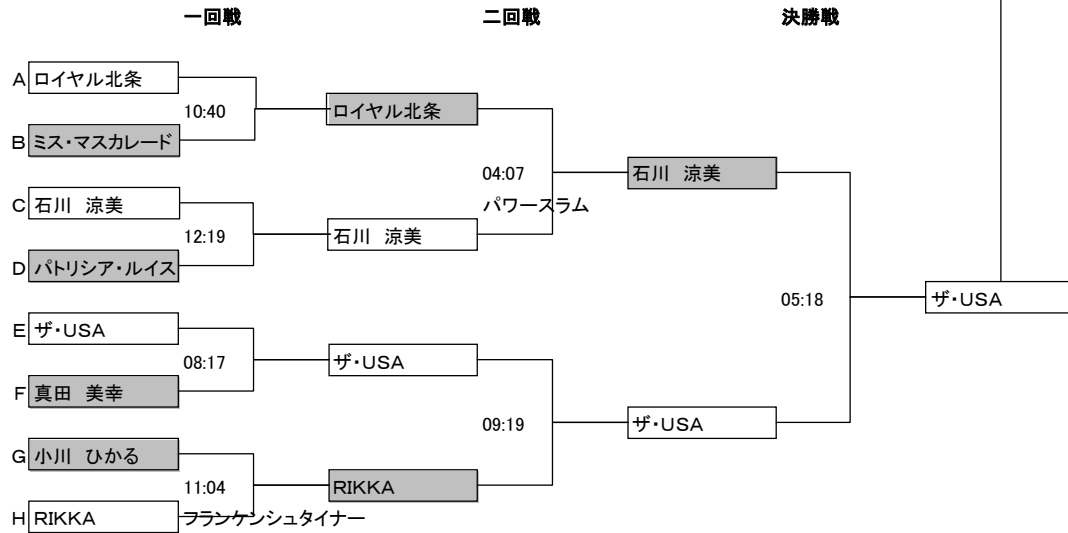
勝ち抜いたのは、市ヶ谷、理沙子、そして新鋭パワーファイター・グリズリー山本の3強。

特にグリズリーはデビュー初戦でメガライトをあっさり劇破。怖ろしい……。

地方大会・甲信越A



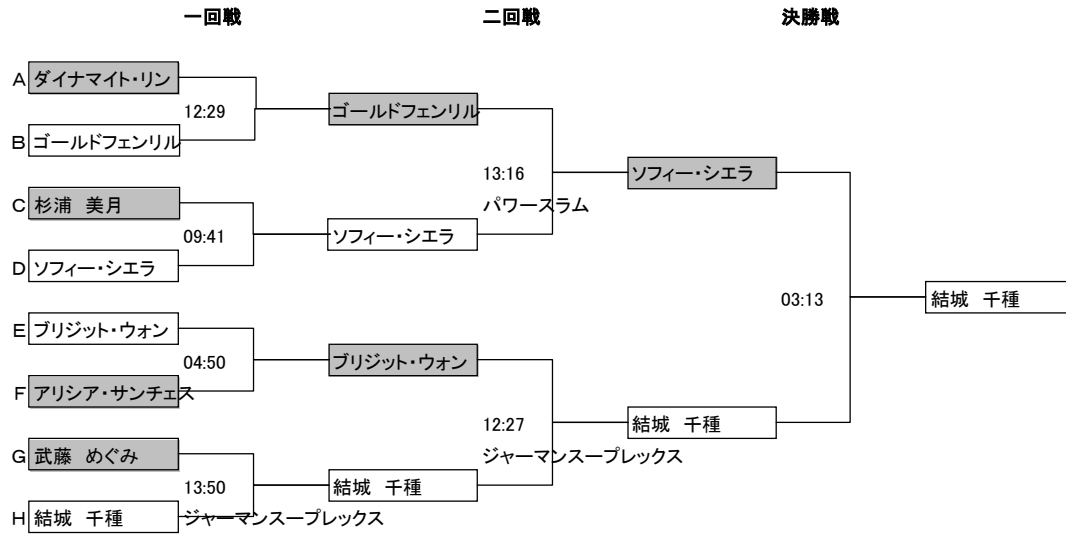
地方大会・甲信越B



『観戦記』

日本人選手10名のため、海外から招待の6名を加えて、決勝進出枠2名の甲信越大会。  
 外国人選手比が大きく、また北海道のカナ神威のようなS級選手がいないため、外国の脅威をもっとも強く受ける地区です。  
 結果は予想どおり、アメリカ人とタイ人に決勝進出をもっていけました。  
 マユリ・シアター(タイ)は、サバイバーから登場した新人外国人ですが、好感をもてるムエタイファイターです。  
 ザ・USAは御馴染み。これはこれで嬉しいものです。おめでとう、決勝進出。

地方大会・東海



『観戦記』

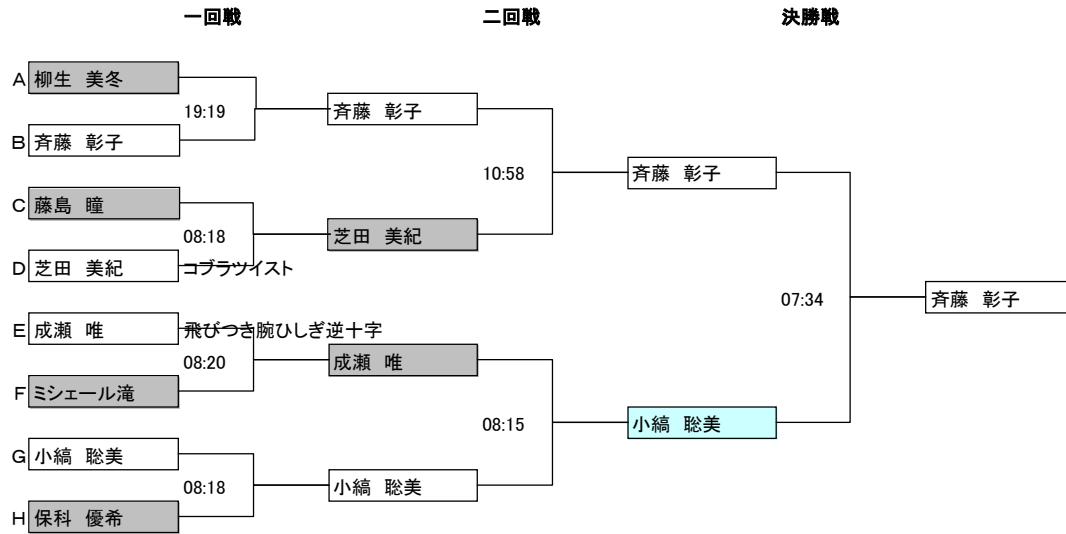
北海道と同じく、外国人招待選手のほうが多い東海大会。

そして衝撃の抽選結果。1回戦でめぐちく対決。決勝までいけばワイルドカードで両者決勝進出の目もあったのですが……。

1回目めぐちく対決の結果は、ちだねの勝ち。(ちなみに筆者はむとめのファン)。

ソフィー・シエラの体格からは想像できないパワーファイトと大健闘など、予想以上に盛り上がった東海大会でした。

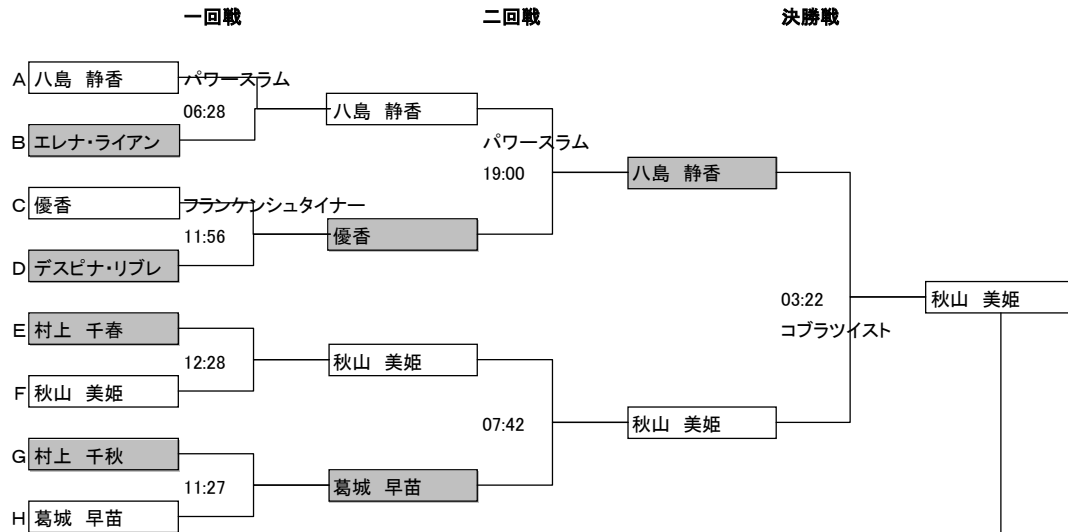
地方大会・近畿



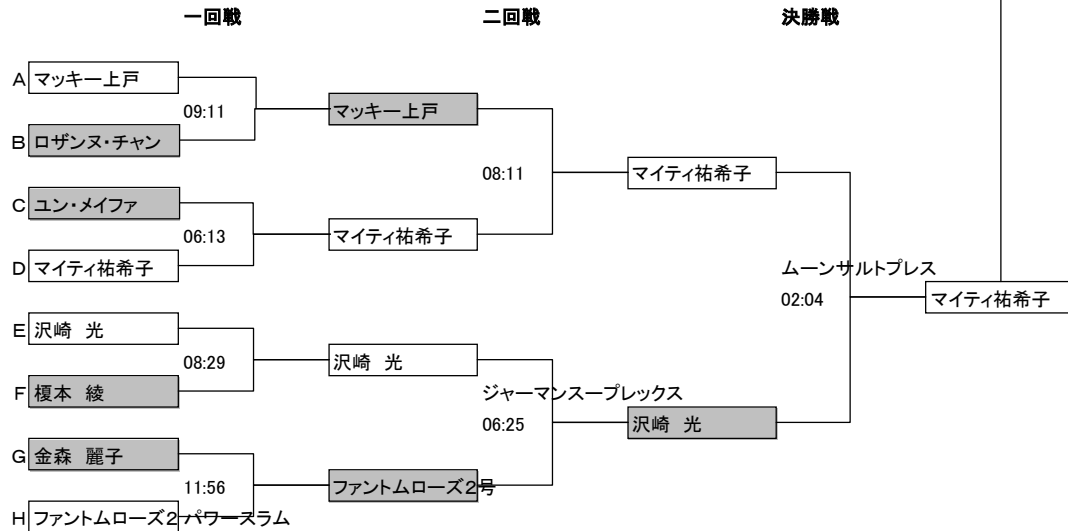
『観戦記』

東北と同様、日本人でさっぱり8名かためた近畿大会。  
 選手層的には東北と比べると地味ですがレベルは若干上でしょう。  
 勝ち上がったのはレジェンドレスラーの斉藤。そして決勝の試合時間からワイルドカードで小縞も決勝進出。  
 オールドファンには嬉しい結果となりました。小縞、さらに可愛くなってますね。

地方大会・中国A



地方大会・中国B



『観戦記』

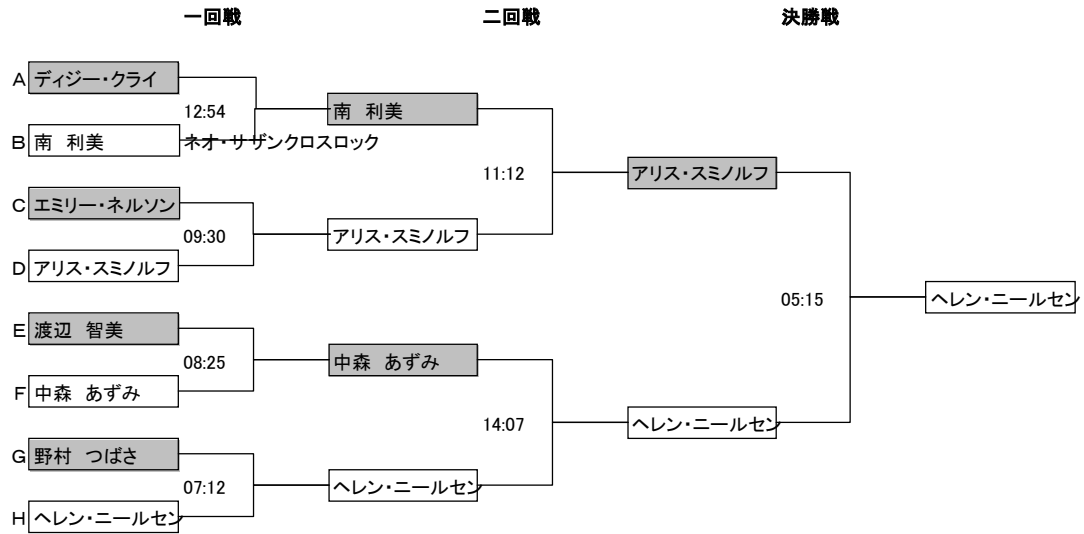
中国大会、別名「マイティ地区」。

そのためか、オリジナル作の開発が広島だったためか、意外と所属選手が多く、16人トーナメントとなりました。

A地区からは新鋭秋山美姫。彼女、かなり強いです。マイティの良いライバルとなるでしょう。

B地区は沢崎、マッキーの包囲網を難なく振り払った女王マイティ祐希子が危なげなく順当勝ち。

地方大会・四国

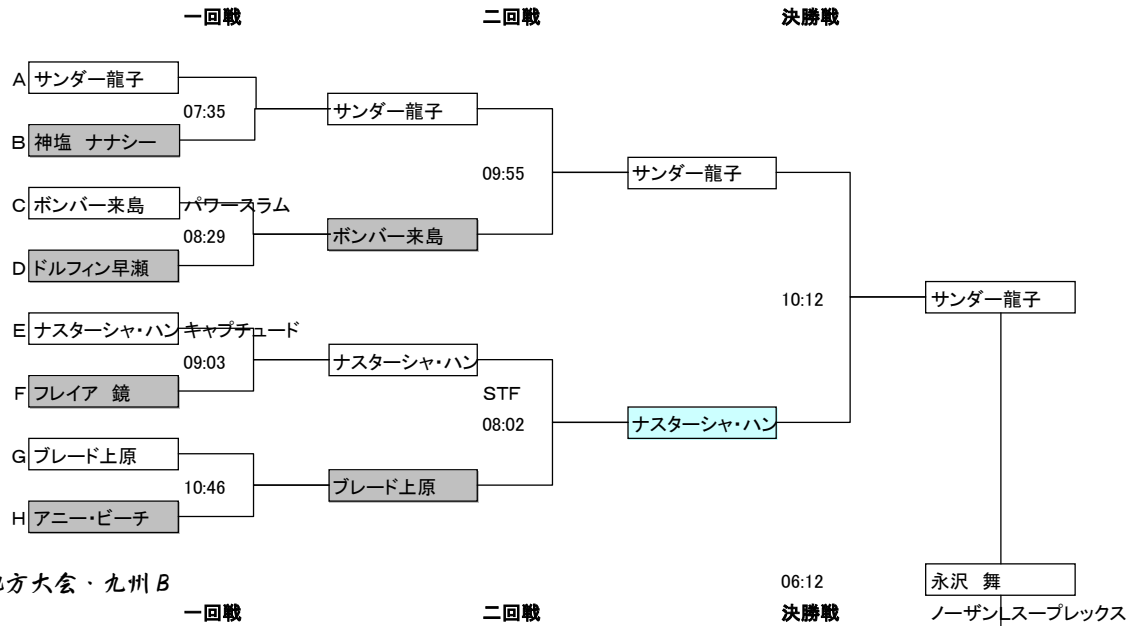


『観戦記』

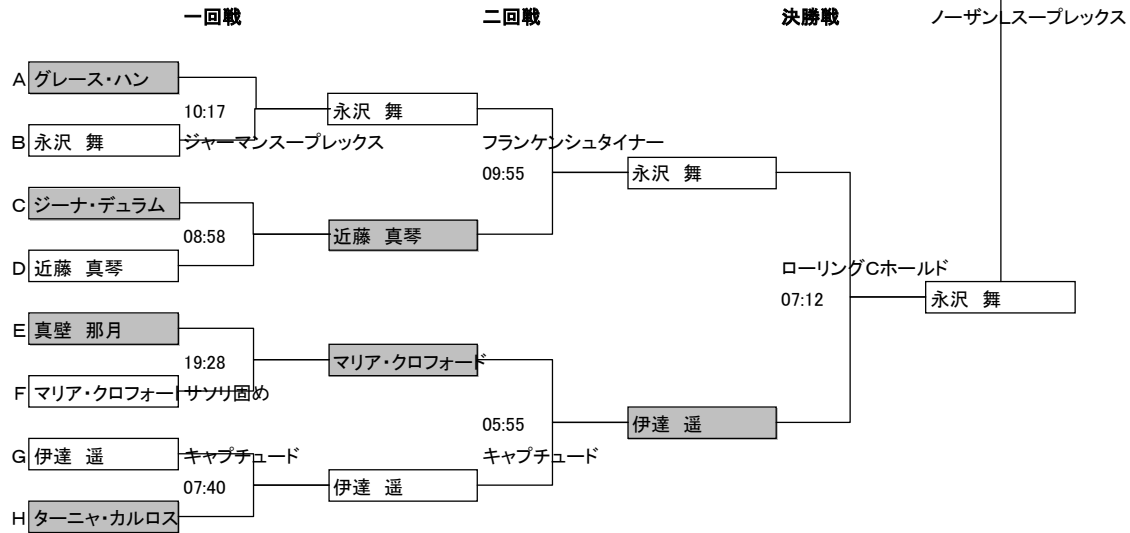
四国大会は日本人4名、海外招待選手4名。日本選手は、南以外はちょっとアレです。  
 その南利美、1回戦で海外からの刺客デイジー・クライを下した後、二回戦でまさかの敗退。  
 四国地区はオランダに占拠されてしまいました。



地方大会・九州A



地方大会・九州B



『観戦記』

関東に次ぐ激戦区の九州地方。

今回は抽選で、レジェンド3強(龍子、来島、上原)がA地区に集中。そこに海外4強の一角、ナスターシャ・ハンが乱入。

このためB地区は穴場の楽勝地区かと思いきや、化け物がいました。「永沢舞」。

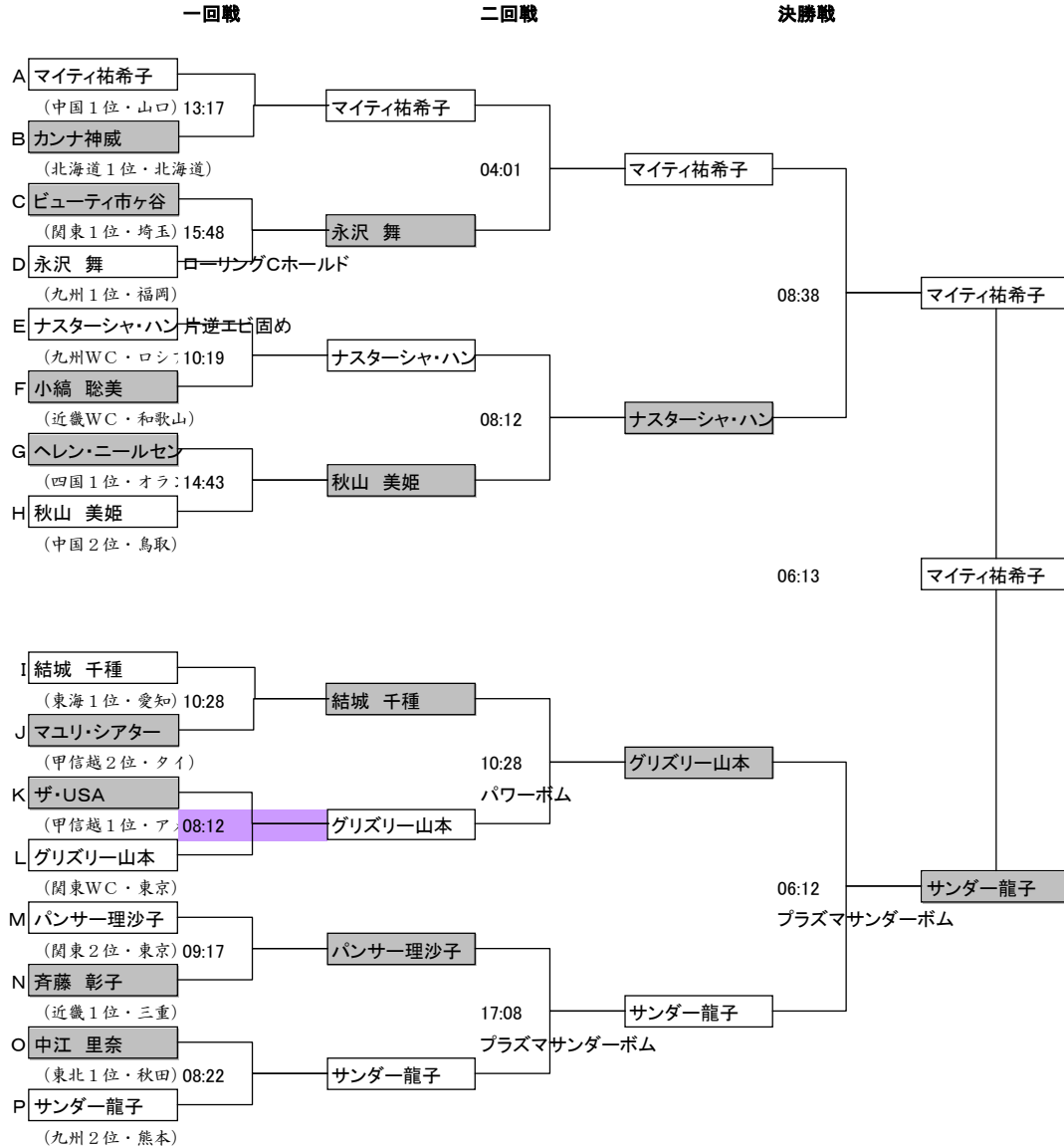
強い、数値以上に強い、めちゃくちゃ強い。決勝では強敵をぶつかり合ってきたサンダー龍子をニヤリと劇破。

しかも全試合、体固め以外の決め手という業師ぶり。まるで連邦の白い怪物です。

<予選>

- ・ワンナイトトーナメント、L3で開催(16名地区は16名トーナメント)。
- ・各地区の選手数は8の倍数とし、足りない選手はランダムで海外選手を選抜し招待した。  
その上で、各地区ごとに抽選を実施し、組み合わせを決定した。
- ・各ブロック1位、およびWCとしてブロック決勝での試合時間上位3名が決勝進出。  
WC:ナスターシャ・ハン、グリズリー山本、小綿聡美

# 第1回決勝トーナメント大会



## 『観戦記』

ドキドキの第一回決勝大会。

初戦で市ヶ谷が九州の白い怪物・永沢に(しかもローリングCホールドで)敗れる波乱。

しかし、結果はマイティ優勝。やってくれます！

1回戦で北海道の新怪物カンナをあっさり劇破、2回戦は市ヶ谷を破った永沢、3回戦はナスターシャ・ハン。

そして決勝はサンダー龍子と、対戦的にも甘さはまったく無く、文句なしの優勝です。

グリズリーは敢闘賞か。ちだねをパワーボムで沈めたパワーはトーナメントでは脅威です。

サンダー龍子はさすがの戦い。パンサー理沙子戦はオールドファンにとっては感涙ものでした。

## <決勝>

- ・ワンナイトトーナメント(16名)、L3で開催。

- ・優勝者の所属地区は、次回大会の決勝進出枠を+1名とする。

優勝者所属地区: 中国(マイティ祐希子)

- ・1回戦で最短試合時間で負けた地区は、隣地区と隣接県出身者から2名、隣地区へ移籍とする。

ただし、その地区が優勝者の所属地区だった場合は、このペナルティは免除とする。

ペナルティ地区: 甲信越(ザ・USA)